

千葉地区会だより

第 38 回千葉地区会総会・研修会に参加して



NHO 千葉東病院

古川 菜生

令和元年 7 月 6 日(土) NHO 千葉医療センターにおいて第 38 回国臨協関信支部千葉地区会総会・研修会が開催され、6 施設 57 名が参加しました。来賓として、関東信越グループより北沢臨床検査専門職、国臨協関信支部より岩崎支部長にご臨席賜りました。

定期総会では益田会長の挨拶に始まり、平成 30 年度の経過報告や令和元年度事業方針案、新役員選出などが審議され、会員の承認をもって無事終了しました。

特別公演では北沢臨床検査専門職から『伝達事項ならびに会員の皆様に向けて』と題し、国立病院機構の概要、人材育成や各種研修会の案内などについて、多くの内容をご講演いただきました。入職して日が浅いため、関東信越グループの現状等について改めて詳しく知ることができる良い機会になりました。また、日々の検査業務だけでなく学会発表や認定資格取得等にも積極的に取り組み、自己研鑽していきたいと思いました。

続いて講演会では、芹澤健介先生より、『外国人と共生する社会とは』についてご講演いただきました。講演では、芹澤先生が数多くの取材で出会った方々のエピソードを交えながら、日本における外国人労働者や留学生の現状等をお話いただ

きました。講演を拝聴させていただき、外国人留学生や、日本で仕事をしている外国の方々が、どのような仕組みで日本に来て働いているのかを、初めて詳しく知ることができました。

また、アルバイトと両立をしながら勉学に励む難しさや、日本で学んだことを母国に還元するための苦労があることがわかり、非常に勉強になりました。芹澤先生は取材以外の場面においても、日常生活の中で積極的に外国の方々と自らコミュニケーションを取られているそうです。私も講演をきっかけに、以前よりもコンビニ等で働いている外国の方々が目に留まるようになりました。外国人と共生する社会を目指すためには、お互いに歩み寄ることが大切なのではないかと感じました。

総会・研修会後には、千葉駅前に場所を移して懇親会が行われました。他施設の会員の皆様と親睦を深める貴重な機会となり、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりますが、お忙しい中ご講演いただいた芹澤先生、北沢臨床検査専門職、またご臨席を賜りました岩崎支部長、企画・開催してくださいました千葉地区会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

